

☆☆ コーラーさんにとって朗報です ☆☆

コーラーが発声したら音楽ボリュームを下げ、発声しないときはボリュームを上げてコールにメリハリをつけたいとは思いませんか。。。
(ベテランコーラーさんは、手動でそれを行なっていますね！)

ところが、SD Music Player Version 1.8からそれが自動でできるようになりました。

その情報をご紹介します。

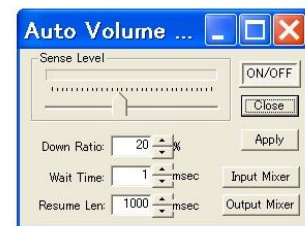
SD Music Player Version 1.8 の機能

1. 自動ボリューム調整機能を追加しました。
2. Wait Time のアップダウン・ボタンの制限範囲を±20から±99に拡大しました。
3. Mix時間の表示位置を右端に修正しました。
4. Windows Vista でも動作するようにしました。
5. メニュー項目の追加や移動なども行っています。

自動ボリューム調整機能とは、PCの録音用入力からコーラーの音声を入力し、コーラーが声を出した時に自動的に音楽の音量を下げる機能です。



検証には若林さんのご協力を頂きました。
(PC・アンプ画像は若林さんからの提供です。)



咽喉マイクを使ってPCに繋いでもOKです。→
(咽喉マイクは澤田が検証済です。)



[Auto Volume]コマンド ([Tools]メニュー)

Auto Volumeはマイクからの音を検知して、音楽の音量を自動的に下げる機能です。この機能は下記のように使用します。

- ① マイクからの音をPCの音声入力につなぐ。(マイク直接かアンプのモニタ出力から)
- ② Input(録音)Mixerで入力ソースを選択し音量を調整する。
- ③ Output Mixerで出力ソースの選択と音量のバランスを調整する。
- ④ Sense Levelを調整する。
- ⑤ Sense Levelを超える入力があると音楽の音量が自動的に下がる。
- ⑥ Sense Levelを超える入力がなくなると音楽の音量が自動的にもどに戻る。

SD Music Player Version 1.8 の機能

Auto Volume Controlダイアログの機能は、下記の通りです。

[ON/OFF]ボタン Auto Volume機能のON/OFF

[Close]ボタン Auto VolumeをOFFにしてWindowを閉じる

[Apply]ボタン Down Ratio、Wait Time、Resume Lenの値を適用する

[Input Mixer]ボタン Input Mixerを起動

[Output Mixer]ボタン Output Mixerを起動

Sense Level 音の検知レベルを設定。これより大きい音を検知すると音楽の音量を下げる。

Down Ratio 音量を下げる割合を%で設定(0~100)

Wait Time 検知がなくなってから音量を戻し始めるまでの待ち時間をミリ秒単位で設定(0~2000)

Resume Len 音量を戻す時のFade Inの長さをミリ秒単位で設定(0~2000)

Sense Level スライダの値は即座に反映されますが、Down Ratio、Wait Time、Resume Lenに設定された値は[ON/OFF][Close][Apply]のいずれかのボタンをクリックした時に反映されます。

PCからの出力は、Output Mixerの機能で、音楽とマイクからの声をミックスすることも出来ますし、声は検知のみ使用して、音楽のみを出力させることもできます。

入力音にはマイクからの声だけでなく、音楽も入ったモニタ音を入れることもできますが、その場合には、音楽を検知しないように、入力レベルとSense Levelの調整をうまく行う必要があります。また、音楽よりは声のレベルが大きくないと検知できません。

注意

- ① Input MixerとOutput Mixerは同時に起動できないことがあります。その場合は、片方を閉じてから他方を起動してください。
- ② Input MixerとOutput Mixerは各PCに付属の機能です。本プログラムは単に起動しているだけです。PCによって選択できる入力ソースなどは異なります。通常は、タスクバーからも起動することができます。
- ③ 他の録音ソフトと同時に使用できない可能性があります。

(若林さんの注意点)

1. HILTONのAUX VOICE OUTと書かれているボリュームを9時位から3時位までまわしておくこと。
写真1
2. これであとはPC側の設定をするだけでした。
写真2
3. PCによって、マイク感度の違いがあるようで、使うPCによってAUX VOICE OUTのボリュームを調整してPCに入る音声レベルを合わせ込む必要があります。
4. PCに側の設定をもう少し試してみても最適状態に調整すれば結構使い物になると思いました。

(澤田のコメント)

私は次のように設定しています。

Down Ratio → 50% (50%ダウン)

Wait Time → 500 msec (0.5秒)

Resume Len → 200 msec (0.2秒)

音楽ボリューム6ぐらいのレベルに対し、自分の声をそれより上(7~8)になるのが良いとされていますので、音楽のボリュームを自分のコールの声より少し高めにしておいて、Down Ratioすると自分の声より音楽が低くなるよう設定します。
ダンサーにとっては音楽ボリュームがあまりアップダウンが激しいと心地良くないといわれています。